

保護者の皆様

平成25年度 練馬区立豊玉第二小学校 学校評価報告書

練馬区立豊玉第二小学校
校長 佐々木 秀之

日頃より、本校の教育活動にご理解、ご協力を賜り、ありがとうございます。
さて、昨年12月に実施いたしました学校評価アンケートの集計結果が下記のとおりとなりましたのでお知らせいたします。学校評価アンケートの結果を謙虚に受け止め、より一層、信頼される学校づくりに努めてまいります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

※今年度における保護者の皆様からの学校評価アンケートの回収率は、昨年度より2.5ポイント高くなりました。今後とも皆様の意見をより反映させていくように努めてまいります。

【下記一覧表の数字について】

Aよくあてはまる Bあてはまる Cあまりあてはまらない Dほとんどあてはまらない Eわからない (保護者・地域・教職員)のうちA及びBの肯定的な評価の割合
Aよくあてはまる Bあまりあてはまらない Cわからない (児童)のうちAの肯定的な評価の割合

【字体や網掛けの意味について】

太字の数字…昨年度と比較して5ポイント以上肯定的な評価の割合が増加した項目
太字斜体の数字…昨年度と比較して5ポイント以上肯定的な評価の割合が減少した項目
網掛け…今年度の評価における本校の課題となる項目

四者による学校評価アンケート結果	保護者			低学年			高学年			地域			教職員			学校の自己評価と三者の比較 ◆学校評議員からの意見 ☆学校の来年度の取組				
	25年度	24年度	差	25年度	24年度	差	25年度	24年度	差	25年度	24年度	差	25年度	24年度	差					
	257名 96.3%	257名 93.8%	*H25 -H24	133名	127名	*H25 -H24	132名	130名	*H25 -H24	11名	10名	*H25 -H24	27名 100%	27名 100%	*H25 -H24					
学校全体	1	【学校の教育目標】 ○学校の教育目標や指導の重点は、子どもや地域の実態に合った適切な内容となっている(保護者・地域・教職員)	85.9	81.4	4.5								100.0	90.0	10.0	81.5	88.9	-7.4	◇保護者・地域・教職員の評価とも肯定的な評価の割合が80%を超えており、学校の教育目標や指導の重点はおおむね子供や地域の実態に即したものととなっている。 ☆全教職員の理解の下、全教育活動を通じて知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子供の育成に努める。	
	2	【学校生活の様子について】 ○子どもたちの学校での様子は楽しそうである(保護者・地域・教職員) ○学校は楽しいですか。(児童)	96.1	93.0	3.1	95.5	94.5	1.0	84.1	53.5	30.6	100.0	100.0	0.0	100.0	92.6	7.4	◇全体的に肯定的な評価の割合が高い。児童の評価においては、昨年度否定的な回答が多かった高学年においても、肯定的な回答が80%を超えており、昨年度と比較して30ポイント以上の増加となっている。 ☆学級における指導を基盤として、教師と児童、児童相互の人間関係を深めるとともに、基礎的・基本的な知識・技能を活用した問題解決的な学習を行い、主体的に学習に取り組む能力を身に付けさせるとともに、自己有用感および学ぶことの楽しさや成就感を体得させる指導に努める。		
	3	【学校生活の様子について】 ○子どもたちは仲良く、学校生活を送っている(保護者・地域・教職員) ○あなたは、友達と仲良くしていますか(児童)	88.8	90.2	-1.4	95.5	97.7	-2.2	94.7	76.4	18.3	81.8	90.0	-8.2	96.3	92.6	3.7	◇全体的に肯定的な評価の割合が高い。児童の評価においては、高学年は低学年よりも肯定的な評価の割合が低い傾向にあったが、今年度の評価においては低学年とほぼ同様の割合となっている。 ☆引き続き、教師と児童の信頼関係および児童相互の好ましい人間関係を確立し、一人一人の人格を尊重するとともに、学級経営・学習指導の充実を図る。		
	4	【教職員の対応について】 ○教職員は誠実に子どもや保護者(地域の方)に接している。(保護者・地域・教職員) ○先生はあなたのことをよく考えたり、話を聞いたりして接してくれますか。(児童)	91.9	86.0	5.9	94.8	95.3	-0.5	72.8	46.5	26.3	90.9	80.0	10.9	96.3	96.3	0.0	◇保護者、地域、教職員ともに肯定的な評価の割合が高く、概ね教職員が誠実に対応できている結果となっている。児童の評価においても、高学年の肯定的な評価が26.3ポイント増加し、安心して学校生活を送れている様子がうかがえる。 ☆担任、副担任はもとより、養護教諭、スクールカウンセラー、心のふれあい相談員の連携をより密にするとともに、より多くの教職員が児童にかかわり、一層思いを受け止めるよう努める。		
	5	【学校生活の様子について】 ○子供たちは、進んであいさつをしたり、正しい言葉遣いをしていく(保護者・地域・教職員) ○あなたは、進んであいさつをしたり、正しい言葉遣いをしていますか(児童)	55.6	53.3	2.3	96.2	82.0	14.2	75.7	38.9	36.8	63.7	70.0	-6.3	25.9	18.5	7.4	◇保護者、地域、教職員ともに肯定的な評価の割合が低い。また、児童による肯定的な評価の割合が比較的高いことから、大人と児童との間で、言葉遣いやあいさつに対する認識の差異が見られる。 ◆PTAにもかかわってもらい実施している学校もある。徹底するのであれば、他校の取組も参考にしたいと思う。 ☆教師自身が気持ちのよいあいさつを率先垂範するとともに、保護者に対する啓発も必要だと考える。日常の学校生活での指導はもとより、あいさつ運動の取組を継続・工夫して行い指導の充実を図るとともに、保護者にも家庭での協力を求める。		
	6	【学校と保護者・地域の連携について】 ○保護者は全体的に学校に協力的である(保護者・地域・教職員)	84.4	79.8	4.6									90.9	80.0	10.9	59.3	51.9	7.4	◇保護者、地域の方は学校の教育活動に理解を示し、支援をいただいている。しかし、教職員の肯定的な評価の割合が低い背景には、学校のきまり等に係る一部の保護者・地域におけるマナーやモラルの低さにあると考えられる。 ◆教職員が感じている課題について、保護者に発信していくべき。保護者側は受け入れる体制は整っているが、活用されていない実態がある。一層の意思疎通を図るべき。 ☆家庭・地域との連携・協力を一層重視し、地域に開かれた取組を推進する。また、家庭との連絡・相談・協力を大切にしながら、学校、家庭の教育力を最大限に発揮できるよう情報を発信し、啓発および共通理解を図る。
	7	【学校の教育活動について】 ○学校の教育活動には満足している(保護者・地域) ○あなたは豊玉第二小学校が好きですか(児童) ○学校の教育活動は充実している(教職員)	86.8	82.9	3.9	95.5	88.3	7.2	72.0	45.8	26.2	100.0	90.0	10.0	85.2	74.1	11.1	◇保護者、地域ともに学校の教育活動に対し、肯定的な評価の割合が高いため、理解を得られている結果となった。児童の評価においては、高学年において、肯定的な評価の割合が昨年度と比較して26.2ポイント増加し、おおむね充実した学校生活を送れていることを裏付ける結果となった。 ☆学級における指導を基盤とすることはもとより、全教職員で児童を見守っていくことで人間関係を一層深め、楽しく学び合い、友達と伸び伸びかかわり合うための学習指導力の向上および学級経営の充実を図る。		
	8	【学校の教育環境について】 ○学校の教室や廊下、特別教室、校庭などの環境整備は行き届いている(保護者・地域・教職員)	93.0	86.7	6.3									91.0	90.0	1.0	81.5	88.9	-7.4	◇保護者・地域・教職員ともに肯定的な評価の割合が高く、安全・安心に活動できる教育環境であると考えられる。 ◆学校図書指導員が次年度から配置されるので、ボランティアの運営が存続できるのか不安がある。長期的に活動を維持するために、地域を中心としたサークル等を立ち上げたかどうか。また、図書の実出しや返却については学校応援団に協力してもらったかどうか。 ☆清掃や手入れが行き届き、整頓された校舎、施設・設備であるよう、校舎、校庭、校内施設・設備に係る月1回の安全点検を実施するとともに、クリーン運動や大掃除等の機会を活用しながら、児童の清掃活動の充実を図り、安全・安心で、気持ちよく学習ができる環境の整備に努める。
	9	【学習について】 ○学校は、子どもの学力の定着・向上のために工夫した授業を行っている。(保護者・地域・教職員) ○学校の勉強は、よく分かりますか。(児童)	79.0	79.8	-0.8	95.5	86.7	8.8	88.7	70.8	17.9	72.8	80.0	-7.2	85.2	85.2	0.0	◇保護者における肯定的な評価の割合が比較的低く、児童における肯定的な回答はおおむね高い傾向が見られる。保護者と児童との学習に対する理解度について、認識の差異が見られる。 ◆学力調査の結果が平均より低い傾向にあるので、学習内容がしっかりと身に付いているのか不安である。家庭での学習習慣の定着を図るため、特に計算に係る宿題の量を増やしたかどうか。 ☆教員の学習指導力の向上に努め、児童がより理解しやすい指導体制を工夫するとともに、標準時数を上回る十分な指導時間を確保する。また、学力補充教室との関連を図りながら基礎的・基本的な学習内容の確実な定着に努める。		
	10	【生活指導】 ○授業は、話の聞き方や発表の仕方等のルールが守られており、落ち着いた雰囲気の中で学習が進められている(保護者・地域・教職員) ○あなたは、学校のきまりを守って、落ち着いて勉強や生活をしていますか(児童)	77.5	65.4	12.1	87.2	78.9	8.3	73.5	41.0	32.5	72.7	60.0	12.7	85.2	66.7	18.5	◇保護者、地域、低学年より高学年、教職員の学習規律、生活指導に関する肯定的な評価の割合が低い。自主性、自律性、規範意識をさらに高める必要がある。 ☆一人一人の人格を尊重しながら規範意識をはぐむなど社会的資質や行動力を高めるため、学級経営の充実を図る。あいさつの仕方や学習のきまりを教員同士で共通理解を図り再確認するとともに、指導内容を統一し、毅然とした対応に努める。		

学習指導等について	11	【少人数指導】 ○3年生以上の算数少人数指導は学習の定着に効果があげている(保護者、地域、教員)	56.5	57.6	-1.1														◇保護者・地域における少人数指導への理解は浸透している結果となった。否定的な評価が多いのではなく、「わからない」と回答している割合が全体として高いことから、活動に対する理解が得られていない。 ◆少人数指導での効果が見えにくい上に物足りなさを感じるという意見が保護者から挙がっている。算数の学習内容が身に付いているのかどうか不安である。 ☆学習内容の習熟の程度に応じた指導、児童の興味・関心等に応じた課題学習、補充的な学習や発展的な学習活動を取り入れた指導はもとより、教師間の協力的な指導など指導方法や指導体制を工夫改善し、指導の充実を図る。また、学校公開日や土曜授業等を通じて、指導内容や活動について、家庭や地域に情報を発信する。		
	12	【朝学習】 基礎学習、読書タイムが効果をあげている(保護者、地域、教員)	62.6	58.0	4.6															◇保護者・地域における朝学習への理解は浸透している結果となった。否定的な評価が多いのではなく、「わからない」と回答している割合が全体として高いことから、活動に対する理解が得られていない。 ☆基礎的・基本的な学習内容の定着に向けて、漢字・計算等の反復的な学習がマンネリ化しないよう計画的に実施する。また、学校図書館の書籍を増やすとともに、活用が進むよう環境整備に努める。さらに、家庭や地域の理解を得るために、学校公開日や土曜授業等を通じて、指導内容や活動について情報を発信する。	
	13	【道徳教育】 ○学校では、道徳の時間を含めた全教育活動とおして、命を大切にすることや思いやりの心をもつ指導に努めている(保護者・地域・教職員) ○あなたは命や人の気持ちを大切にしていますか(児童)	76.7	73.5	3.2	94.7	93.0	1.7	78.0	68.1	9.9	90.9	70.0	20.9	92.6	77.8	14.8			◇全体的に肯定的な評価の割合が高い。地域における評価においては20ポイント以上、教職員や高学年児童においては、10ポイント程度の増加となっている。 ☆引き続き、道徳の時間の指導方法の工夫・改善を推進することにより、小中一貫教育に基づき、中学校への円滑な接続を視野に入れた系統性のある指導を継続していく。また、授業公開や道徳授業地区公開講座を通じて、道徳教育について家庭や地域との連携を深めるため、参加しやすい環境づくりに努める。	
	14	【特別活動】 ○運動会や学芸会、宿泊を伴う行事などでは、友達と協力したり、一人一人の個性が発揮されたりするような場が設定されている(保護者・地域・教職員)	93.0	93.4	-0.4															◇保護者・地域・教職員ともに肯定的な評価の割合が非常に高い。今後とも、一人一人のよさや個性が発揮され、自己有用感や達成感を培っていくような内容や方法を工夫していく。 ☆学校行事は2学期制の特徴である長い学習スパンの中で、年間の中にバランスよく配置することが肝要であると考える。次年度に向けて、児童にとって負担にならないよう、計画を進める。	
	15	【特別活動】 ○学校は、学校行事やクラブ活動、児童会活動(生徒会活動、部活動)の活性化に努めている(保護者・地域・教職員) ○運動会や学芸会などの行事は楽しいですか(児童)	93.0	93.4	-0.4	98.5	97.7	0.8	94.7	75.7	19.0	100.0	100.0	0.0	100.0	96.3	3.7			◇児童、保護者・地域・教職員ともに肯定的な評価の割合は非常に高い。児童の評価においては、高学年が19ポイント増加となっている。引き続き、学校行事を含めた特別活動に主体的に参加できるよう、指導に臨む。 ☆活躍できる場を意図的・計画的につくことに努め、児童の責任感および自己有用感、達成感を培いたいと考えている。学校行事はもとより、委員会活動の仕事内容の見直し、魅力のあるクラブ活動の創設、より自発的な児童会活動など、所属するすべての児童が責任を果たしたり、達成感が得られたりするよう工夫する。	
学校生活全般	16	【学校公開】 授業参観や学校公開日、各種行事の実施日は、保護者や地域の方ができるだけ参加しやすい曜日に設定されている(保護者・地域・教職員)	91.4	93.0	-1.6															◇保護者・地域・教職員の評価とも肯定的な評価の割合が90%を超えており、実施日としては妥当であると考えられる。 ☆引き続き、年間8回実施する第二土曜日の授業日を中心に、学校公開、各種行事等を年間バランスよく配置する。	
	17	【学校生活】 ○学校は秩序があり、子供たちはノーチャイムの生活で自立心、自律性をはぐくみ、落ち着いた学習している(保護者・地域・教職員)	79.0	74.7	4.3															◇保護者と教職員の肯定的な評価の割合に若干の差異が見られる。学校として共通理解のもと、指導に努めているところではあるが、保護者との情報交換および共有を図ることで改善が図られると考えている。 ☆今後も、生活指導と連動して、自立心・自律性をはぐくみ、主体的に考えて行動できる児童を育成するために、ノーチャイムおよび学校のきまりを基本としてよりよい生活習慣、学習規律等、望ましい学校生活の充実を図る。	
	18	【防災教育】 ○学校は災害に対する知識や、自分の安全を守るための対処の仕方などを身に付けさせるとともに、適切な行動選択ができるよう努めている(保護者・地域・教職員)	89.4	83.3	6.1																◇全体的に肯定的な評価の割合が高い。さらに適切な行動選択ができる指導の充実にも努める。 ☆地震、火災、火山、気象、原子力、避難所、備えなど防災に関する指導の充実を図る。また、避難訓練の内容について様々な状況を想定して計画・実施非常災害時に的確な思考・判断に基づく適切な意思決定や行動選択ができるようにする。
	19	【危険予知、回避】 ○学校は、事件や事故を未然に防ぐために、具体的な取組(名札の着用、情報モラル講習会、引渡し訓練)や実地訓練の充実にも努めている(保護者・地域・教職員)	91.6	87.6	4.0																◇全体的に肯定的な評価の割合が高い。事件や事故に対する危機管理は日常の点検とともに一層の充実にも努める。 ☆学校安全安心ボランティアの人数が増加し、日常の安全管理の体制が整ってきている。引き続き、募集に努める。また、情報モラル講習会、不審者侵入訓練の内容の充実を図るとともに、学校ホームページや練馬区学校連絡メール等を活用し、保護者および学校関係者に日常の危機管理に係る迅速な情報提供に努める。
	20	【広報】 ○学校は、学校や子どもたちの様子をわかりやすく伝えている(保護者、地域、児童、教職員)	79.4	77.0	2.4																◇教職員と保護者、地域の肯定的な評価の割合に差異が見られる。更なる情報発信が必要である。 ◆ホームページやメールも伝達方法の一つだが、学校の活動を周知できる掲示板を設置してはどうか。 ☆学校だより、学年・学級だよりなどの充実はもとより、学校ホームページの閲覧を定着させるための工夫に努め、定期的に更新する。また、ホームページやメールなどの周知だけでなく、紙ベースでの周知についても検討する。
情報発信・家庭・地域との連携	21	【学校と保護者・地域の連携】 ○学校は家庭や地域との連携に積極的に取り組んでいる(保護者・地域・教職員)	84.4	79.4	5.0															◇保護者の肯定的な評価の割合は地域、教職員の肯定的な評価の割合より低い。更なる連携に努める必要がある。 ☆保護者との連携を密にするとともに、保護者会や家庭訪問、個人面談の時間を十分に確保し、内容の充実を図る。	
	22	【学校と保護者・地域の連携】 ○学校が行う保護者や地域の方に対する説明会等は、会の持ち方や回数、内容について適切であると考えている(保護者・地域・教職員)	81.3	78.2	3.1																◇全体的に肯定的な評価の割合が高い。 ☆説明の時期、回数、内容の検討だけでなく、ホームページや今年度9月から運用を開始した練馬区学校連絡メール等を有効活用するなど、方法についても改善を図る。また、不審者に関する情報および災害安全に係る情報等、緊急性の高い情報についても速やかに提供できるよう努める。
健康教育	23	【健康教育】 ○学校は、子どもの体力向上や健康教育の促進に積極的に取り組んでいる(保護者・地域・教職員) ○学校では、たくさん運動したり、健康に気を付けて生活していますか(児童)	89.5	84.0	5.5	95.5	90.6	4.9	84.1	56.9	27.2	90.9	90.0	0.9	96.3	85.2	11.1		◇保護者、地域における肯定的な評価の割合は非常に高い。また、高学年の児童は進んで運動していると答えた割合が27.2ポイント上昇した。 ☆引き続き、体育朝会、体力向上月間、元気アップ週間、縄跳び講習会などの取組を通じて体力の向上を図るとともに、生涯にわたって健康・安全で活力ある生活を送るための基礎を培う。		
小中一貫教育	24	【小中一貫教育】 ○小・中学校間の円滑な接続を図るために小中一貫教育を推進し、有効な取り組みが行われている。(保護者・地域・教職員)	59.1	52.5	6.6															◇保護者・地域における小中一貫教育への理解は浸透している結果となった。否定的な評価が多いのではなく、「わからない」と回答している保護者が依然として多いことから、活動に対する理解が得られていない。 ◆小中一貫の仕組みが正しく理解されていない。特に就学前の保護者との間で誤解が生じている実態がある。理解を促すために、近隣の幼稚園や保育園にもリーフレットを配布したらどうか。 ☆小中一貫教育リーフレットの活用、保護者や地域に対する小中一貫に係る取組の情報発信等、さらに周知できるよう努める。	

＜次年度の学校改善へ向けた校長の見解＞

本年度の保護者の学校評価アンケートの回収率は96.3%でした。アンケートの回収にご協力いただき、ありがとうございました。各項目の数値は全体としておおむね昨年度の数値を上回る結果となりました。特に、保護者の評価では10項目において、低学年の評価では5項目において、高学年の評価ではすべての項目において5ポイント以上の改善が見られました。しかしながら、地域の評価では、全体的には肯定的な評価の割合が高いものの、4項目において昨年度を5ポイント下回るという結果となりました。これらを謙虚に受け止めるとともに、学校評価委員会の意見を踏まえ、次年度の教育課程に十分に反映させてまいります。